

夏の活動では蚊が多く発生する季節となりました。活動の際には「蚊に気をつけて！」活動をして頂きたいです。また、蚊の幼虫のポウフラを羽化させない対策などをご紹介します。「蚊にさされない」「蚊を増やさない」が大事です

## 蚊にさされない！

### 蚊にさされない対策として

- ・刺されないような服装等に注意する。
- ・蚊を潜む場所を減らす（風通しを良くする）

蚊の成虫の活動時期は5月～10月下旬です。  
刺される機会を減らすことが重要です。



## 蚊に気を付けて！

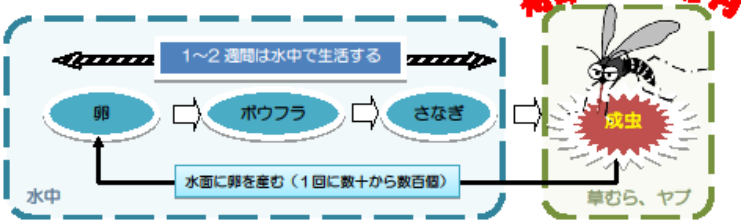
蚊はデング熱、チクングニア熱、ウエストナイル熱、マラリア、日本脳炎等さまざまな感染症を媒介します。蚊が媒介する感染症を防ぐために、普段から蚊に刺されない、蚊を増やさない対策を行きましょう。  
特に、デング熱・チクングニア熱を媒介するヒトスジシマカは活動範囲が狭い（半径100～150m程度）とされています。身の周りにある蚊の発生源を減らし、蚊を増やさない環境づくりをしましょう。



ヒトスジシマカ

### 1. 蚊の習性

～蚊のライフサイクル～



蚊は雌だけが吸血します。雌は水際や水面に卵を産み、卵が孵化すると「ポウフラ」（蚊の幼虫）になります。「ポウフラ」はやがて「さなぎ」になり、「さなぎ」が羽化して成虫になります。雌の成虫は3日ほどで吸血を始め、約1か月の寿命があります。

### 2. 蚊に刺されないために

#### 肌の露出を避けましょう

蚊の多い場所へ行く時には長そで、長ズボンを着用し肌の露出を避けましょう。



#### 忌避剤を正しく使用しましょう

虫よけスプレー・ローション等の各種形状の製品がありますが、使用上の注意をよく確認してから使用しましょう。



#### 蚊のいる場所は避けましょう

雑草の茂った場所や湿った風通しの悪い場所とどまることは控えましょう。



#### 蚊を家に入れないようにしましょう

窓に網戸を設置したり、ドアの開閉をなるべく少なくしましょう。



## 蚊を増やさない！

### 蚊をふやさない対策として

- ・小さな水たまりに幼虫は発生しやすい。
- ・雨水ますや水道のますに、水が溜らないようにバケツ一杯のお水を流すことで幼虫の駆除になります。

### こんなところに蚊のすみかがあります！

#### 幼虫（ポウフラ）対策

ポウフラは小さな水たまりでも発生します。水たまりをなくし、水たまりの原因となるものをかたづけましょう。

古タイヤ、空き缶などはかたづける



デング熱・ジカウイルス感染症の予防のために

# 蚊に刺されない

人間に近づけないよ

- ハイキングに行くときは長袖・長ズボンを着用
- 肌の露出部分には虫よけ剤を使用

デング熱・ジカウイルス感染症の予防のために

# 蚊を増やさない

住みにくくなったなあ

- 蚊の幼虫の発生源：屋外に水がたまる入れ物やゴミを置いておかない
- 蚊の成虫のすみか：せんだや草むしりをして風通しをよくする



潮田神社で6月の第一週に雨乞いのお祭りとして実施される。各町会にお神輿をもって神社に御霊入り・御霊返して境内は神輿がずらっと並びます。



公園から神輿が出て神社に向かいます。戻ってくる担ぎ手を迎え、子供神輿を引いた子供達も公園でお疲れ様！！（潮田仲通公園）



鶴見区ではお祭りが盛んです。生麦の杉山神社（花月園駅前公園）は8月頃・北寺尾の八幡神社（北寺尾第二公園）は9月の初めと時期もさまざまです。神社への奉納は、潮田神社のように「雨乞い」の意味で6月頃にお祭りが実施されており、奉納の内容によって時期もさまざまです。納涼会・盆踊りなどで公園を利用されると思います。公園内で行事やイベントを実施する際には、「公園内行為許可申請書」「公園使用料減免申請書」を鶴見土木事務所までご提出いただける様よろしくお願い致します。



お祭りって“わくわく”するね！！



平成28年度分 活動報告書及び収支報告書をお送りします。各期4月～6月・7月～9月・10月～12月・1月～3月と収支報告書（5枚の各種書類）各公園愛護会名を記載したものをお送りします。

- ①送付書
  - ②平成28年度分 活動報告書と収支報告書及び返信用の封筒
  - ③鶴見区公園愛護会通信 むさし vol.18
- 活動報告書の提出用の封筒には切手が貼っていません。送付の際は切手を貼ってご投函ください。

### 公園愛護会等コーディネーターからのお知らせ

夏に向かって公園内の緑も夏仕様になって来ました。公園愛護会活動では、木陰で休憩や水分補給を、十分にとりましょう！また、夏の暑い日や体調の悪いときはお休みするようにしてください。熱中症は、市民ボランティアの保険「横浜市市民保険」の対象外になります。自己で体調を管理して無理のない活動をお願いします。別便にて、横浜市環境創造局発行の公園愛護会通信58号に紹介されています「公園 de 健康づくり」の講習会を紹介させていただきましたが、活動前にはケガの防止のために軽く運動も心げけるようにお願いします。

Vol. 18 2016 夏	鶴見土木事務所 所在地
発行年月日 2016. 6. 29	〒230-0051
発行者 鶴見土木事務所 下水道・公園係	横浜市鶴見区鶴見中央3-28-1
公園愛護会等コーディネーター 河野	TEL045(510)1673~1674